

神聖な啓示の高嶺とキリストのからだの実際

聖書：ローマ8:3. 1:3-4. 8:4. 12:4-5. ガラテヤ2:20. ピリピ3:10-11

- I. 神聖な啓示の高嶺とは、「神が人と成ったのは、人を神格においてではなく命と性質において神とならせ、キリストの有機的なからだを生み出し建造して、神のエコノミーを完成し、この時代を閉じ、キリストの再来をもたらし、彼の王国を設立するためである」ということです——ヨハネ1:12-14. Iヨハネ3:1-2. ローマ8:3. 12:4-5. 啓11:15:
- A. 神のエコノミーとは、彼の目的であって、神聖な三一の中で彼ご自身を、彼の選ばれ贖われた民の中へと分与して、彼らの命と性質とならせ、彼らを彼であるのと同じにし、彼の団体の表現にすることです——Iテモテ1:4. エペソ1:3-23。
- B. 神は、心の願いと永遠の定められた御旨を持っています。神は、ご自身を人と成らせ、人を神とならせることを欲しています。それは、神と人の両者が、命と性質において同じになるためです——5, 9節. 3:11. 4:16. 5:30, 32。
- C. 神は彼のエコノミーを完成するために、わたしたちを彼ご自身のかたちに創造しました。その目的は、わたしたちが神格においてではなく、命と性質において神となるためです——創1:26. 啓4:3. 21:10-11。
- D. 聖書の中に記載されている神のエコノミーとは、「神が人と成ったのは、わたしたちを命、性質、表現において神とならせ、わたしたちに神・人の生活を持たせ、キリストのからだとならせるためである」ということです——ローマ8:3. 1:3-4. 8:4, 14, 29. 12:4-5:
1. 神は彼の御子を遣わして、人と成らせ、神聖な命によって神・人の生活を生きさせました——ヨハネ3:16. 1:14. 6:57前半。
 2. このような神・人の生活の結果は、一人の宇宙的な大いなる人であって、キリストと全く同じです。すなわち、一人の団体の神・人であって、神聖な命によって神・人の生活をし、肉体において神を現します——エペソ4:24. Iテモテ3:15-16。
- E. 神がわたしたちを贖った目的は、わたしたちを命と性質において神とならせるためです。それによって神はキリストのからだを持つことができ、それは新エルサレムにおいて究極的に完成し、永遠にわたって神の拡大と表現になります——エペソ1:6. 4:16. 啓21:2。

F. 神であるが人である方は、人であるが神である者の中に住んでいます。そして、人であるが神である者は、神であるが人である方の中に住んでいます。こういうわけで、彼らは相互の住まいです——ヨハネ14:2-3, 20, 23. 15:4前半。

G. すばらしい過程を通して、神は人と成り、人を命と性質において神とならせます：

1. 神にとって、この過程は、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活です——1:14. 6:57前半. 1:29. 3:14. 12:24. 20:22。

2. わたしたちにとって、この過程は、再生、聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化です——3:6. ローマ12:2。

3. パウロの手紙の中でわたしたちが見るのは、昇天したキリストが命を与える霊としてご自身をわたしたちに供給し、わたしたちを彼のかたちへと造り変え、わたしたちを彼の本質、要素、性質、現れにおいて、彼であるのと同じにすることです——Ⅱコリント3:17-18。

H. 神が人と成って、人を神とならせることによってのみ、キリストのからだは生み出され、建造されることができます。これが、神がわたしたちに与えた神聖な啓示の高嶺です——ローマ8:3. 1:3-4. 8:14, 16, 29. 12:4-5。

II. キリストのからだの実際は、神の贖われた一群れの人による団体の生活です。彼らは神によって、神、すなわち神・人とされています。また、自分自身によってではなく、別の命によって生きます。この命は、手順を経て究極的に完成された三一の神です——ガラテヤ2:20：

A. 神のエコノミーの最高峰は、キリストのからだの実際です。キリストのからだの実際は、完全に有機的なものです——ローマ8:2, 6, 10-11. 12:4-5。

B. キリストのからだの実際は、神と人との結合とミングリングであって、一人の団体の神・人を生かし出します——ヨハネ14:20. 15:4前半. エペソ4:4-6, 24。

C. キリストのからだの実際は、復活の力によってキリストの死へと同形化される団体の生活です——ピリピ3:10。

D. キリストのからだの実際は、信徒たちが完全にキリストの復活の命の中にいることを必要とします。復活の中にいることの意味は、わたしたちの天然の命が十字架につけられ、わたしたちの存在の中で神の創造した部分が、復活の中で引き上げられ、復活の中でキリストと一になることです——ヨハネ11:25. ピリピ3:10-11. Ⅱコリント1:9。

- E. 主の回復は、キリストのからだを建造するためです。こういうわけで、からだを認識することは、主の正しい回復です—— I コリント12:27. エペソ4:16. コロサイ3:15 :
1. 神のエコノミーは、彼の御子のためにからだを得ることです。このからだが神の願いを実現して、彼を表現し、敵を打ち破ります——エペソ1:22-23. 4:16. 創1:26-28。
 2. 召会はキリストのからだをその有機的な要因とします。キリストのからだがなければ、召会は命がなく、単なる人の組織にすぎません—— I コリント1:2. 12:12-13, 27。
 3. からだが、召会の内在的な意義です。からだがなければ召会は意味をなしません。また、何の意義もありません——ローマ12:4-5. 16:1, 4, 16。
 4. キリストのからだは、わたしたちの中の命としてのキリストによって形づくられます。この命がわたしたちとミングリングして、キリストのからだとなります—— I ヨハネ5:11-12. コロサイ1:18. 2:19. 3:4, 15。
 5. キリストのからだは、ミングリングされた霊という事柄です。キリストのからだの実際の中にいることは、ミングリングされた霊の中で生きることです——ローマ8:4. I コリント6:17。
 6. わたしたちはキリストのからだの肢体として、からだの意識を持ち、またからだに対する感覚を持つ必要があります。からだは宇宙的であり、わたしたちの中の命は宇宙的であり、からだの感覚も宇宙的です——ローマ12:15. I コリント12:26-27. II コリント11:28-29。
 7. 主の回復は、シオンを建造することです。それはキリストのからだの実際であり、新エルサレムにおいて究極的に完成します。召会生活の中で、わたしたちは力を尽くして今日のシオンに到達しなければなりません——エペソ1:22-23. 4:16. I コリント1:2. 12:27. 啓14:1. 21:2。
 8. わたしたちはキリストのからだの実際を持とうとするなら、キリストにわたしたちの心の中にご自身のホームを造っていただくかなければなりません。からだの実際は、内住のキリストについての内なる経験です——エペソ3:16-17前半. 4:16. コロサイ1:27. 3:4, 15。
 9. 主が緊急に必要とすることは、キリストのからだの実際が諸地方召会の中で表現されることです。からだの十分な表現がなければ、主は再来しません——エペソ1:22-23. 4:16. 5:27, 30. 啓19:7。

10. 主が必要とすることは、勝利者たちが神のエコノミーを完成し、キリストのからだを得て、彼の敵を打ち破ることです。勝利者たちがいなければ、キリストのからだは建造されることができません。そして、キリストのからだは建造されなければ、キリストは彼の花嫁を迎えるために再来することができません——エペソ1:10. 3:10. 啓12:11. 19:7-9。

©2007 *Living Stream Ministry*